平成20年度実績事務事業評価シート (Aシート)

								``		• /	1	下成 日:	半成2	1年8月7日	
100	整理	番号		01-09	90104002-01	事業種別	維	持管理				事業態	镁	継続	
車攻車光 点 [7±		17七〈	5災通信施設管理事業			区分	コード			名	称				
-	事務事業名					会計	1	一般会計							
		区分	ì	コード	名	称		款	9	消防費					
.6.0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	基本目	抽	5	安全・安心わ環接σ)またべく N		項	1	消防費					
総合	前期	基 平日	1分	Э	安全・安心な環境のまちづくり		目	4	災害対策	費					
総合計画	基本	施	策 4		当時、時代は4割のま	2 字		細目	2	防災通信	施設管理	事業			
画	本	加	來	4	1 消防・防災体制の充実			細々目	1	防災通信	施設管理	事業			
[体系	計画				2 災害対策の推進		枝番号								
211		基本事	事業 2				事務事 根拠法				基本法、電 災行政無約		運用規程		
	事業期間				単年度 🗸 単年	F度繰返し		期	間限定袖	复数年度	(年	度 ~	年	度)
(事業概要(事業のあらまし)		L)	通常は、行政のお知らせ等の情報を伝え、災害					は避難準	備や勧告フ	などの情	報伝達をで	する。		
-1		EM ~		✓ 総合	合計画 前期基本計画	町主要事業			担	当部課等	生活社	畐祉部		生活安全課	
		画等での ∶置付け		自	主的財政健全化計画	基本計画・構	想・	新規事業	1	担当係	消防	方災係	記入者	菅野安彦	
正 三 111)			平成20年度重点事業						一次評価	者(課長	等名)	安田 :	章		

1 行動方針 (PLAN)

_	1123773 21 (1 Dill)									
事	対象 (誰を、何を)	市民、移動系防災無線、同報系防災無線								
業目的	意図→目指す成果			区分	指標名	単位				
	(対象をどのよう な状態にしたいの	災害発生時に全ての市民に対し、情報を迅速かつ正確に伝達し、被害を最小限度に抑える。		成果	① 戸別受信機設置率(全戸)	%				
	(יל			指標	② 避難人数	人				
_	e en.	防災無線は、災害時等において市民に災害の状況、避難誘		区分	指標名	単位				
手段 (事業の具体的な				活動	① 戸別受信機の数	個				
P	7容、手順等)	通常:各種行政情報の伝達、保守点検 災害時:災害情報、避難勧告等の伝達	5>	指標	② 放送回数(災害時)	旦				

2 実施 (DO)○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(沒	央算)	平成21年度(決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円)	
	需用費	617					
	役務費	572					
	委託料	1, 218					
直接事業費	使用料及び賃借料	9					
	備品購入費	1, 895					
	負担金・補助金及び交付金	1,036					
	①事業費計	5, 347	①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数 (年)	0. 20	②人数(年)		& 人数 (年)		
	③平均人件費	8,608	③平均人件費		③平均人件費		
	$4 = 2 \times 3$	1,722	4=2×3		4=2×3		
総事業費 ①+④		7, 069					
	国庫支出金						
	県支出金						
財源内訳	使用料及び手数料						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	地方債						
	その他	5, 184					
	一般財源	1,885					

○事務事業の実績

	指標名		単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	戸別受信機の数	個	8, 746	8,806	8,866	9, 046
伯男伯宗	2	放送回数(災害時)	旦	0	0	0	0

本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	1	戸別受信機設置率(全戸)	%	91	92	93	95
以不相保	2	避難人数	人	0	0	0	0

3 評価 (CHECK)

【1次評価】									
		項目	区 分		選択理由の説明	項目評価			
目的妥	1	意図が政策・施策体系と結びついているか?	□ 結びつかない✓ 結びついている	\Rightarrow	本事業の遂行により、安全・安心なまちづくりが でき、市民の生命と財産を守ることができる。	✓ 適切✓ やや不適切			
当性	2	市が行うべき(関与すべき)事業か?	✓ 行う必要がある☐ 行う必要がない	\Rightarrow	厳しい財政状況の中、市民の安全・安心を守るの は市の責務である。	□ 不適切			
有効	1	目的を達成するための手段 (実施方法)は有効か?	□ 有効である□ やや有効でない□ 有効でない	\Rightarrow	戸別受信機の普及は、確実な情報伝達の手段とし て有効である。	✓ 適切 ☐ やや不適切 ☐ 不適切			
性	2	成果指標の目標値の達成状 況は?	✓ 順調である□ やや順調でない□ 順調でない	\Rightarrow	戸別受信機の普及の増を図り、確実な情報伝達を 図る。				
効率	1	投入した事業費又は人員に 見合った効果は得られてい るか?	✓ 得られている○ やや得られていない○ 得られていない	\Rightarrow	必要最小限の予算、人員で執行している。	✓ 適切			
性	2	効率的な方法で実施されて いるか?	✓ 実施されている○ やや実施されていない○ 実施されていない	\Rightarrow	事業の合理化、事務の簡素化と併せ、人員も最低 限で実施している。				
公平性	1	受益者の負担が適正かつ特 定の個人や団体に偏ってい ないか?	■ 馴染まない✓ 適正である□ やや適正でない□ 適正でない	\Rightarrow	全市民が対象であるから、改めて受益者負担を求 める必要はない。公平性は保たれている。	✓ 適切□ やや不適切□ 不適切			
[【2次評価】								
全体評価 意 見									
	□ 適切 □ やや不適切 □ 不適切								

4 評価による行動 (ACTION)

4	4 計価による行動 (ACITON)									
		【1次評価】		【2次評価】						
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)						
20年度	 拡大・重点化 手段等の見直し 列状継続 廃止・休止 完了・終了	戸別受信機の普及増を図り、確実な情報伝達を図る。また、普及促進のための啓蒙と他の媒体 (FMモットコム) の活用を検討する。	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了							
/ 19年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		一 拡大・重点化□ 手段等の見直□ 現状継続□ 廃止・休止□ 完了・終了							
18年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		放大・重点化 手段等の見直 現状継続 廃止・休止 完了・終了							